

「モンリオール年次世界大会に参加して」

パストガバナー 高橋福八

無事、大役を果たされた加藤ガバナー1年間の労をねぎらう為、モンリオール世界大会に参加した本庄 RC21 名と西川エレクトを先頭に志木 RC11 名は6月17日、12時間近くの空の旅を楽しみつつ、カナダ最大の都市トロント空港に到着した。

ナイアガラの滝に圧倒

更にバスでカナダとアメリカ国境にある世界で最も有名な「ナイアガラの滝」を部屋の窓から一望出来るホテルにチェックイン。翌18日は「霧の乙女号」に乗船し、轟音せまるアメリカ滝を左に見てカナダ滝の渦巻く滝壺の直近にせまる。カップは着たものの水煙で顔も下半身もずぶ濡れになりながら、ものすごい水量の迫力に圧倒された。午後は高さ160mスカイロンタワーの回転展望レストランで空から滝を見下ろしての昼食、夜10時からライトアップされた滝をバックの花火大会等さまざまな角度からナイアガラを堪能。



盛り上がった晩餐会

翌19日はカナダ第二の大都会、北米のパリとも称されるモンリオール市街観光の後、ロータリー友愛の家を通り国際ロータリー年次大会会場前にて参加者全員記念撮影。その夜、今回の旅行最大の目的である加藤ガバナー慰労歓迎晩餐会が市内レストランで行われた。ガバナーは飛行機の都合で3時間半遅れて終宴直前に到着したが、その間、全員がウイトに富んだ楽しいスピーチで宴は時間を忘れて最高に盛り上がった。西川ガバナーエレクト夫人から加藤ガバナーに、そして西川ガバナーエレクトには高柳ガバナー補佐夫人より、それぞれ花束が贈られた。

世界文化遺産ケベック

翌20日はモンリオール近郊観光、夕方6時VIA鉄道のグリーン車に乗り、8時過ぎに広大な地平線に沈む真っ赤に燃える夕日の美しさに心奪われつつ夜9時半、終着駅ケベックに。駅舎のクラシックな芸術性あふれるドーム天井に思わず感嘆の声。翌21日、城壁に囲まれた旧市街全体がユネスコ世界歴史遺産都市で中世ヨーロッパの面影残す街のたたづまいを散策。

本庄 RC の団結力

旅行中いつも笑顔でムードメーカー田中会長、常にビデオカメラで旅を楽しむ団員を克明に撮り続けてくれた今泉幹事、茂木 正オンツアーモンリオール委員長兼地区団長、狩野本庄クラブ団長、中島本庄クラブ副団長兼会計、真下地区幹事、等役員始め、会員の全面協力に加えて、杉山淑子会員を中心に狩野、高柳、中島、高橋、の団員夫人で結成された美女軍団「ラブリーファイブ」のお陰で楽しさも倍増し、和気あいあい、本庄 RC の団結力の素晴らしさを実感、楽しい思い出に残る旅となった。ご参加の皆さんに心からお礼申し上げます。

